



Discover a New World of Service

見つけよう 奉仕の新生面



会長 川村徳男 幹事 迎田 稔 クラブ奉仕 山口篤之助 職業奉仕 佐藤 忠 社会奉仕 吉野 勲 国際奉仕 新穂光一郎 青少年奉仕 藤川享胤

出席報告：会員 74 名 出席 53 名 出席率 71.62% 前回出席率 71.62% 修正出席 62 名 確定出席率 83.78%

### 四つのテスト

- ① 真実かどうか？
- ② 好意と友情を深めるか？
- ③ みんなに公平か？
- ④ みんなのためになるかどうか？

### 会長報告

川村徳男君

1. 28日に立川R.C.の創立10周年記念式典に出席してまいりましたが、天候にも恵まれ、大へん盛大でした。名前が同じということで、東京の立川R.C.とは親交が深く、合同例会を持ったりしているようです。東京立川R.C.は当クラブとほぼ同じ創立で、100人位の会員だそうです。クラブの歌があって、一部の歌詞をこちらの立川R.C.に合うように変えて披露されましたが、大へん軽快な気持ちのよい歌で、将来はわがクラブにもあんなものがあってもよいのではないかと思います。
2. 先週の例会後に市役所でN・B友好協会の理事会があり、ハイライン博士夫妻の歓迎会を、同協会と当クラブの共催で、5月10日午後6時から第一インで催すことにしました。今日ご案内を差し上げてありますが、ぜひ多くの方々のご参加がありますようお願い致します。
3. 来週の5月7日の例会には、ハイライン氏夫妻と、オーストラリアのマチドクラブでありますストウエルR.C.のブラウン氏夫妻が出席され、お二人のスピーチがあります。大勢の出席によって

国際親睦の意を表したいと思っておりますので、よろしくお願い致します。なお、どちらも会長経験者です。

4. ニューブランズウィックにカレンダーを送った礼状が参っております。

5. 次の例会までの行事

- (1) ロータリー関係  
特にありません。
- (2) 一般の行事

明日から5月になりますが、1日はメーデー、2日は八十八夜です。夏も近づく八十八夜、とうたわれるように、5日は立夏、暦の上では夏で、野にも山にも若葉が繁る頃となります。

3日は憲法記念日。5日はこどもの日、端午の節句です。6日は月曜ですが、振替休日となります。

### 幹事報告

迎田 稔君

- 回覧→鹿児島西R.C.会報  
ロータリー財団ニュース  
(平和のための財団)
- 来週の例会は5階ホールになります。

### 会員スピーチ

### 授戒について

藤川 享胤君

皆川さんのピンチヒッターとして、原稿も全然ありません。陸男さんからまるめこまれ、おまえのところで授戒をやるんだから、そのコマーシャルをしたらどうかと云われ、出た次第です。

ただ、ほんとうのお話は私の職業奉仕から着物を着ての方が良いと思いますが、今日はこんな格好で来ましたので、実は授戒の話はほんとうは御無礼と思いますが、コマーシャルでなくて、半分笑いながら聞いてもらえればよいような話をとりまとめて行

ないたいと思います。

実は71年前、大正3年、私の寺で永平寺の禅師さんを迎えて授戒を行ないました。授戒というのはどういふものかと云いますと、普通皆さんお記憶にありますのは、例えば亡くなりますと、菩提寺に電話をかけたして枕経をあげまして、出棺する前に戒名をつけるのが普通なんです。実は戒名は生きていられるうちにもらうわけなんです。そのひとつの大きな例としては、武田信玄の信玄とか、上杉謙信

の謙信というのは実は本名でなくて戒名なんです。つまり、あの当時の武将は自分から世の中に出ていこうという意味では死を覚悟して、私的な部分を減して世を統治しようというような意気込みの時に、自分の菩提寺に行ってその方丈さんから戒名を授けていただき、自分はいつ死んでもいいのだと意志表示をして、全国に流布するということが、ひとつの世に出ていくパターンであった訳であります。

戒名については、こんなおもしろい話があります。博多に聖福寺という寺があります。これは臨済宗の開祖栄西禅師が建てられたお寺であります。文化文政の時代といいますから、今から250～260年前になりますが、そこに仙崖禅師という方が住職をしておられましたのであります。仙崖禅師は禅宗中興の祖と云われる素晴らしい宗教家であります。この禅師の寺のすぐ近くに一人の老人が住んでおりました。非常に信仰の厚い老人でありました。この人が臨終に際し、自分が死んだらば仙崖禅師から戒名をつけてもらいたい。自分は仙崖禅師を心から尊敬しておったが、宗派が違うということがあって、生前は親しくおつきあいは出来なかった。されどわしが死んだらば仙崖禅師からぜひ戒名をつけてもらいたい。そう云って遺言を残されたのです。残された家族はおじいちゃんの遺言であるので、最初に菩提寺に行って和尚さんにこういうしかじかでありますので、仙崖禅師から戒名をつけてもらうことをお許し下さいとお願ひしたのですが、願われた和尚さんはおもしろくないのであります。しかし、仕方がなく白木のお位牌を寺の小僧に持たせて、仙崖禅師のところに使いをやりまして、口上を述べさせ、仙崖禅師から戒名をつけていただきにお願ひしましたところ、今頃私から戒名をつけてくれとは奇特な方であると云って、筆に墨をたっぷりつけて、真白な白木の位牌を真黒に染めるのであります。これが戒名だよ、そう云って手渡します。もらった小僧はびっくりしました。白木を真黒に染めた戒名なぞ、今まで見たことがなかったけれども、仙崖禅師がこうしたんだから何か訳があるであろうと思って、位牌を持って菩提寺に帰り自分の師匠さんにこれをいただいてまいりました。そういって真黒に染めた白木の位牌を出したところ、和尚真赤になり怒り、これは黒田の殿様が一目も二目も置いていると云われる仙崖がわしを愚弄しておる。そこで菩提寺の和尚は仙崖禅師に対して一首歌を作るのであります。その歌は「明るくて行くべき道を黒く染め死出の旅路をいかでくらん」という歌を書いて小僧に持たせませう。仙崖禅師はそれを見てにっこり笑って、返し歌を書いてあげるから持っていけという。その返し歌は、「明るくも暗くも行くが仏なり死出の旅路は夜も昼もなし」それを見た菩提寺の和尚、まいったと思う。でも負けたくない。もう一首返歌を書きます。「明るくも暗くもゆくが仏ならもとの白木になぜに置かない」それを見た仙崖禅師が、最後のきわめつけに、「位牌をばもとの白木におくならば、きこうもわしも世渡りがなし」実は仙崖禅師は小さいことにこだわっている菩提寺の和尚をいさめると共に、私達に、偉い坊さんから戒名をつけてもらったなら極楽とやらに行けると思ったら大間違いであると云いたいのであります。亡くなってから偉い坊さんに

戒名をつけてもらおうと、あの世とやらで極楽に行けるならば、誰だってそうするであります。そんなに美味しい話がこの世の中にあるはずがない。大事なのは生きていうちに自分の元に日参し、仏道とは？ 人生とは？ なにかということ、身を呈して修行することなんだよと戒しめておるのであります。

御承知のように、生きとし生けるものは皆この世に生まれてきたら必ず死ぬ訳であります。生を受けたと同時に、間違いなく着実に死に向って前進している訳です。それは皆さんよく知っているところであります。ところが、人間というのは思いあがりの強い生きものでして、他人はどうであって、自分はまだまだ死なないと思っておるのであります。死なない、死ねない、死にたくない、人間の欲望は最限なく広がってまいります。そして“生”の部分にだけ執着するあまり、事象の本質を見逃し、迷いの世界で右往左往しているのが私共の世界であります。

私は、人生には大きく分けて二通りの生き方があると思うのです。最限なく広がる欲望という名の電車に乗って、それを満足させんが為に吾人生をおえてしまうか、それとも、どこかでその電車から飛び降りて知足…足ること知る喜びの人生をおくるか。無論、後者の人々を一人でも多くつくらんが為に私共の宗派では御授戒をするのであります。この忙しい世の中に、忙がしい世の中なるが故にその忙がしさからときはなれ、“生とは”、“死とは”、“人生とは”、を頭ではなく体でわかってもらおう（体解）というのが授戒会の眼目であります。

5日間、70人の坊さん達と共に生活し、仏道のノウハウを一から勉強する授戒会に御参加することをおすすめし、ピンチヒッターのスピーチと致します。

## スマイル

- 忠 鉢 徹 君 湯田川孟宗が昨年より2週間早く出ましたので、是非孟宗喰いに御出下さい。
- 新穂光一郎 君 29日天皇誕生日の競馬、天皇賞レースに当たったので。
- 斎藤 庄治 君 二番目の孫誕生。
- 飯野 準治 君 ゴルフ大会ピリヤ方式優勝。これで2連賞。3連続の場合スマイル2倍したい。
- 秋野 忠 君 ゴルフ大会準優勝。今年のスタートが良い。
- 関原 亨司 君 ゴルフ大会一位。初めて出場させてもらったよろこび。
- 藤川 享胤 君 ゴルフ大会二位になった。
- 佐藤 忠蔵 君 鶴岡R.C.マークして。

## ビジター

- 北海道砂川R.C. 佐藤 忠蔵 君
- 鶴岡西R.C. 鈴木 昭吾 君・足達 一見 君  
(今週の担当者 斎藤 昭)